

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	情報メディア論2		
英文授業科目名	Information Media 2		
開講年度	2008年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	情報システム学研究科-情報メディアシステム学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	情報メディアシステム学専攻		
担当教官名	橋山 智訓		
居室	IS-346		

公開E-Mail	授業関連Webページ
hashiyama@is.uec.ac.jp	

<p><b>【講義の狙い，目標】</b></p> <p>本講義では、システム論を基本に、人間を扱う上で必然的に必要になるあいまいさを取り扱う手法およびシステムの学習、適応について解説する。</p> <p>演習を行い、知的処理システムの実現に向けての課題を実感する。</p> <p>また、最新の話題も適宜取り上げる。</p>
---

<p><b>【内容】</b></p> <p>(a)授業内容</p> <p>(1) システム論</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・線形システムを中心に</li> <li>・適応・学習システム</li> </ul> <p>(2) ソフトコンピューティング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファジィシステム（システム記述の方法論として）</li> <li>・ニューラルネットワーク（非線形モデリングの方法論として）</li> <li>・遺伝的アルゴリズム（解探索の方法論として）</li> </ul> <p>サンプルプログラムなどを作成、実行するなどの演習を実施する。</p> <p>(3) 人間の認知特性に関する話題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最近の話題の中から、数件をピックアップし、解説する。</li> </ul> <p>(b) 授業の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の講義に加え、サンプルプログラムなどにより演習を行うことで理解を深める。</li> <li>・進捗状況によっては、演習課題を宿題とする場合がある。</li> </ul>
--

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

### (c) 授業時間外の学習

- ・ サンプルプログラムの演習や関連するレポートを宿題として課す場合がある。

### (d) オフィスアワー：授業相談

- ・ 特に設けない。質問などは電子メールで受付ける。

### 【教科書，参考書】

基本的に資料を配布するが、必要な場合は、参考書などを講義中に適宜指示する。

### 【予備知識】

基礎科目 2 の単位を受講していることが望ましい。

### 【演習】

実施する。

サンプルプログラムを修正し、課題に取り組む。

### 【成績評価方法及び評価基準】

#### (a) 評価方法

- ・ 演習のレポート提出状況および最終課題レポートにより総合的に評価する。

#### (b) 評価基準

- ・ 最終課題レポートが受理されていること。

### 【その他】

その他，学生に伝えたいことがあれば記載してください。